

通学路から見える企業 ～地方に希望を～

チームID SL20488

学校名 灘高校（1年）

チームメンバー 村井祐基、太田英仁、安達知也、宮本健太郎（リーダー）

指導担当教諭 木下道之助先生

<500万円銘柄一覧>

8318 三井住友銀行	489,770	2651 ローソン	196,490
8392 大分銀行	197,664	6326 クボタ	148,115
7513 コジマ	207,564	2712 スターバックスコーヒージャパン	207,000
8214 アオキインターナショナル	197,890	8242 阪急百貨店	316,345
4655 NOVA	355,980	9409 全国朝日放送	212,000
8564 武富士	189,050	8153 モスフードサービス	405,720
7604 梅の花	133,000	9021 西日本旅客鉄道	162,000
7645 日本トイザラス	188,400	7516 コーナン商事	176,900
8276 平和堂	207,478	8305 みずほホールディングス	899,000

・日本の景気と株式投資

今、日本の景気に明るい日差しは見えません。TVを見ていると、すでに日本の景気はアメリカの景気浮上頼み、と公言する専門家もいます。

では、私たちには何もできないのでしょうか。そんな事はないはずです。例えば、『消費』。個人消費の低迷が景気低迷の一端となっている事は明らかです。極端な事を言ってしまうと、「宵越しの金はもたねえ」という江戸っ子的精神を持てばよいわけです。

しかし、現実にはそんな事は難しいでしょう。この不況時に、リストラ等の危機に直面して、そう簡単に金が使えなくなるわけがありません。どう考えても、貯蓄の方が賢明です。では他に何かできることはあるのでしょうか。その答えの一つが、『株式投資』ではないかと思います。

・短期投資を学ぶ

さて、「自主テーマによるポートフォリオ学習」では、「分散投資」と「長期保有」がテーマでした。しかし、株の売買というのは、何も長期的観点に立ったものだけではないと思います。そこで、「バーチャル株式の体験学習」では、高校生には向いていないとは思ったのですが（短期的な買いは、その株についての情報戦だと思ったため）、その株式のデータを（日足チャート等で）読み取って短期で購入する、という方法をとりました。

結果的には、自分達の当初の懸念が的中し、この方法は失敗に終わってしまいましたが、色々得るところもありました。

一番強く感じたのは、「損切りの難しさ」でした。様々なTVや書籍で「下がった株を、もう少しあがったら、と期待していつまでも持ちつづけるのはいけない」と聞きましたが、これが難しいと感じました。「この株〇〇〇円まで戻したら、もうさすがに売ろう」などと思っても、もう少ししのところでそこまで上らず余計に下がってしまい、目標を下げて同じことをやる、そして泥沼にはまる、というケースがありました。いかに、「思い切りのよさ」が必要であるかを痛感しました。

また、「思い切りのよさ」というと、「儲かった株をいつ売るか」ということも問題になりました。ある専門家の方から「ある目標（上限・下限ともに）を定めてその目標に到達したらすっぱりあきらめて売る」というアドバイスを頂いたのですが、これもなかなか難しい。「損切り」と同じことなのですが、「もう少し」と思ってしまうわけです。

他にも、データの読み方など多数学んだ事はあったのですが、やはり「思い切りのよさ」が一番のキーポイントになったと思います。仮想資金ではなく実際の金銭で投資をする時には、「リスクとリターンを比べて株を買う思い切りのよさ」なんていうポイントも出てくるかもしれません。一度実際のお金で株をやってみたいと思っていました。

・経済は身近なもの。まずは地元から。（自主テーマによるポートフォリオ学習）

今、この国はまさに景気後退の局面に置かれています。この不況は日常生活にも暗い影を落とし、日々深刻化しています。新聞を見ても、リストラ、失業などの言葉が載らない日はありません。私たちの地元関西は、他の地方と比べても、経済状況が厳しく、もうここ何年も連続して、失業率も著しく高い状態が続いています。長引く不況と将来への不安から、消費者が各々出費を抑えるため、スーパーなどの小売店は営業不振にあえぎ、身近なところでも閉鎖が相次いでいます。特に小売業界は、売上げの落ち込みから、投資家に悲観視され、資金も思うように集まらず、苦しんでいます。小売店は工場や農地で生産したモノを仕入れて、経済を支えるという役割を担っているという意味で、特に地元の経済に深く根付いており、もし万が一倒産したときのダメージは測り知れません。投資家としては、現状を見越して小売店から資金を引き揚げるといった選択は賢明で、モノが売れないのだから仕方がないといえ仕方がないのかもしれませんが、しかし、本来不況時にお金を投資して、景気をよくするという役割が期待されている投資家が、投資から逃げているがため、不況がますます深刻化しているとは皮肉な話です。

マイカルは不況による倒産のよい例です。モノが売れない中、努力し確実に営業利益を上げていました。しかし、過去事業を立ち上げた時の借金を根拠に、投資家間で悪い噂が広がり、皆が取引を見合わせたため、急に資金が入らなくなり、倒産に追い込まれました。

投資と言うと、どうしても派手な事業を展開しているようなハイテク企業に目が向いてしまいます。ハイテク企業は最先端のモノを作っているという点で魅力的で、イメージがよく、将来性もあります。国際競争力を持ちあわせており、将来的に日本全体を引っ張っていくという点で、重要です。しかし、本当に資金を必要としているのはハイテクだけでしょうか。

本来、投資とは、生活と密着したもので、それによって生活が豊かにならなければなりません。ハイテク製品が生産できても、安く良い状態で売するためのコンディションが整っていなければ、本当に豊かとは言えません。魅力ある商品は魅力ある場所でこそ映えるのです。そんな場所を提供している小売店は地方の顔と言っても過言ではありません。地方の空気や雰囲気と言うものを形作っています。そこで、今回は、小売店を中心に、地元に着している企業をポートフォリオに組み込みました。投資とは何をやっているかよく分からない企業に対して行うべきではありません。実際に**私たちの通学路（電車の線路）から見える企業**を見学し幅広く取り入れました。ただ、一口に小売店といっても、個性がなければ、将来性はありません。淘汰されてしまいます。他の企業と違うこと、それが魅力となるのです。というわけで、何かこれだけは他の企業には負けないという特色があること、こだわりがあることを特に重視しました。

以下に、今回私たちが購入した企業の詳細と地図を示します。

・モスフードサービス

モスバーガーの他にも、マクドナルドや吉野家をはじめとする外食チェーンはいまや数え切れないほどあります。商品のディスカウント化が進み、高校生としてはうれしい限りです。

しかし、猫も杓子も値段を安くすると、買い手としてはどれを選んでいいか迷ってしまいます。どうせ同じような値段を払うのであれば、ありきたりの物を食べるのでは面白くありません。何かアクセントのある、他では食べられないようなものを、と思ってしまう。

その点、モスバーガー（モスフードサービス）は、他のハンバーガー店とは一線を画していると思います。私たちが「えっ、こんなものを？」と思うようなものをバーガーにしてくれますし、「次は何が来るだろう」という期待があります。そもそもモスバーガーは和風味付けを特色としています。私たちは日本人です。このごろ和食も再評価されていますし、日本人なら和風！といきたいところです。

確かに同業の他社に比べると、多少値段は高いと思います。が、最近はセットを作ったり期間限定の値下げをやったりしていますし、そこまで気になるような差ではありません。というよりも、多少高いだけおいしいのでまったく気にならない、というのが、友人達に共通して聞かれました。

値下げ競争の激化の中で、全く新しい商品を生み出していく、独自性を伸ばしていく、ということは大変だと思います。これからも値下げしても質を落とすことなく独自路線を突っ走ってほしい、という期待をこめてこの株を買いました。

・大分銀行（銀行株総括）

今回、銀行株をかなり買っています。今時銀行株を、と思う方もいるかもしれません。確かに、『株式で利益を得る』という観点から見ると、銀行株は買うべきではないかもしれません。しかし、今だから、金融不安が広がった今だからこそ、銀行に投資したいと思うので

す。小泉総理は郵政民営化を訴えています。民営化されたら郵便局だって銀行と同じです。預金が絶対に保証されている、なんていうことはありえなくなります。自分で銀行を選ばなくてはならない人が増えるのです。

いまや都銀だからと安心できる時代ではなくなりました。この不況のあおりや、不良債権で苦しいのはどの銀行でも同じでしょう。だから、自分が『選び甲斐のある銀行』と思った銀行を、少しでも助けたい、少しでも再生してほしい、という希望の意味をこめて、銀行株を買いました。

では、数多ある銀行の中から何故大分銀行なのか、述べていきたいと思います。

そもそも、私（村井）の母が大分銀行に勤めていたことから興味を持ったのですが、調べていくうちに、意外と（と言ったら失礼かもしれませんが）良い企業だということがわかりました。

大分銀行は、バブル時に貸出拡大路線をとっていなかったことから、貸出債権の質は良く、再生法基準による不良債権比率は5%弱と全国の地銀の中では優良な基準にあります。多くの銀行が不良債権処理に苦しむ中、不良債権が少ないことは大きな強みになると思います。

また、様々なシステムを他行に先駆けて積極的に取り入れています。

例えば、全国地銀初のベンチャー企業向けファンドを設立したり、他行に先駆けて大容量高速回線を導入し、印鑑照合などの事務を合理化したりと、様々な試みが行なわれています。この競争社会において、他にない新しい試みをするという決断力も評価しました。また、コンプライアンス（法令遵主）を統括する「経営監査部」を設立したり、「コンプライアンスプログラム」の制定や、外部から監査役を採用したりと、コーポレートガバナンス（企業統治）にも積極的です。

このような、堅実な経営や新制度への積極性は、これからの銀行間競争で大変重きをおいてくるものだと思います、大きく評価しました。

・阪急百貨店

大阪キタの中心地、阪急梅田駅の近辺は、昭和40・50年代以降、阪急グループによる開発が急激に進められました。阪急三番街や阪急百貨店、HEP NAVIO、阪急インクスなど阪急系列のさまざまなタイプのお店が駅を中核として林立しているため、別名「阪急村」と呼ばれています。数年前のリニューアルで、HEP FIVEの屋上をぶち抜く真っ赤な観覧車が完成し、大きな話題を呼びました。「阪急村」は現在、関西随一のショッピングエンターテインメント総合タウンとしてすべての世代に愛されています。私自身も、よく梅田のHEP FIVEに映画を見に行ったり、阪急の専門店街で買い物をしたりします。阪急村の店の中でも、ファッション街の中心としてひととき目立っているのが、阪急百貨店です。高級感漂う店内、そして個性溢れるブランドが人々を惹きつけてやみません。定期的にリニューアルを繰り返すことにより、常に流行の最先端を行き、その魅力をずっと保ちつづけています。阪急百貨店、そして「阪急村」の個性を評価し、将来性を期待して、ポートフォリオに採用しました。

・JR西日本

私たちが毎日お世話になっている鉄道です。民営化後から急ピッチで改革を進め、ダイヤを抜本的に見直し、新型通勤用車輛を投入、「より速くより便利に」をモットーに、大阪・三ノ宮間を20分足らずで結ぶ「新快速」を定着させました。震災時には、阪急・阪神に先駆けて、いち早く全線を復旧して運転を再開し、阪神間の唯一の交通の足として、また神戸の復興の足がかりとしても大きな役割を果たしました。

JR西日本は、関西圏の各都市を結ぶ路線を特にアーバンネットワークと名付けて重視し、関空快速や大和路快速など、利用者のニーズに対応した電車を積極的に運転しています。また、ほとんどの駅に、切符が2枚投入できるJスルーシステムの改札を設置し、乗り越し精算の手間の軽減を図るなど利便性をも追求しています。

常に生活者の視点に立ち、要望を的確に捉えた上で、地元に着した交通機関の代表として日々企業努力を続けているその姿勢を評価し、ポートフォリオに採用しました。

・平和堂

平和堂は、滋賀県を中心とし、計85店舗のスーパーマーケットやショッピングセンターを運営している一大小売店チェーンです。設立当初から、「スーパーであることや百貨店であるより先に、毎日の生活をより豊かにして、きらめき輝く時にしたい」という理想のもと、地域の人々の暮らしを第一にした、事業展開を続けてきました。社内では、「売上高」をことを「ご奉仕高」、「粗利益高」のことを「創造高」と呼んでいます。まさにこれは、お客様本位の精神と企業改善努力の表れとも言えるでしょう。現在では、地域地域の特性を生かし、食料品だけでなく、専門店、レストラン、映画館やアスレチックジムなどのアミューズメント施設に至るまで、何でも取り揃えた大型店舗が次々とオープンし、1日中でも遊べる衣食住遊休の拠点となっています。大型店舗はさることながら、JR琵琶湖線の、主だったすべての駅の周辺に、店舗をオープンさせる緻密さは他の企業の真似できるものではありません。これらの事項をすべて勘案し、ポートフォリオに採用しました。

・ローソン

吹田市江坂に、大阪本社があります。関西発のコンビニエンスストアとして、全国中に店舗を展開、最近ではLoppiと呼ばれる端末を設置し、各種チケットを取り扱うなど、生活者の立場に立ったサービスを次々と打ち出しています。まさに街のホットステーションです。まもなく、ローソンで何でも揃うという日がやってくるかもしれません。

・クボタ

機械メーカーで、尼崎に研究所があります。「美しい日本をつくろう。」のスローガンの元で、環境保護に積極的に関わり、私たちの生活に欠かせない下水処理施設やゴミ処理施設の開発にも力を入れています。

・コジマ

郊外の大型家電販売店チェーンで、安さ世界ナンバーワンを目指しています。店員の対応は至って親切で感じがよく、値段交渉にも応じてくれるので、私自身よく利用しています。

・アオキインターナショナル

ビジネスに仕事に欠かせない紳士服を、高品質低価格で提供する、紳士服販売店チェーン。アオキ独自ブランドを打ち出し、他の販売店との差別化を図っています。

・スターバックスコーヒージャパン

言わずと知れた、コーヒーの専門店。おしゃれでくつろげる雰囲気がウリです。コーヒーへのこだわりに関しては他の追随を許さず、種類も豊富です。最近は店舗進出を加速させており、コーヒーブレイクの新しいあり方を提案しています。

・NOVA

国際化が急激に進みつつある現在、英語はこれからの必須スキルとして脚光を浴びています。学校教育英語の失敗からも明らかなように、本当の英語は実際に英語を使いコミュニケーションを行わないことには身に付きません。そのためには留学がもっとも有効です。NOVAは「駅前留学」・「お茶の間留学」などのいわゆる擬似留学サービスを取り揃え、お金・時間に余裕のない人に対してもナマの英語に触れる機会を提供しています。

・武富士

全国津々浦々に店舗を揃える、消費者金融チェーンです。不景気な世の中、給料の滞納等で、必要な時に手元にお金がなく、困っている人が多数います。そんな人たちのお金の遣り繰りに一役買っています。

・梅の花

豆腐料理専門店チェーンです。現在、高齢化やダイエットのブームで、健康食への関心が高まっています。梅の花は、料理を豆腐一本に絞込み、低カロリーでヘルシーな食事を前面に押し出しました。その狙いが的中し、現在では着々と新店舗進出を進めています。正直、私は最初、「豆腐だけで日本食が作れるのか」と疑っていましたが、実際に食べてみると、バリエーションが非常に多く、まったく飽きることはありませんでした。

・コーナン商事

大阪を中心に展開するDIYショップです。園芸用品から収納用品、台所用品、日常雑貨などありとあらゆるジャンルのものが、定価よりも相当安く買えるので、特に土日は、賑わいます。大掃除のシーズンには、私自身もお世話になりました。

・トイザラス

アメリカ発の外資系、玩具店チェーンです。店の大型化と流通の合理化で、安さに関してはどこにも負けません。玩具は子供の、発想の柔軟性を高め、想像力を育てるのに非常に重要です。そんな玩具を手ごろな価格で提供するトイザラスを高く評価し、ポートフォリオに取り入れました。

・全国朝日放送

テレビはエンターテインメント等の番組を通して、私たちに笑いを与え、生活を豊かにしてくれます。また、時に文化を創り育て上げると言う役割も果たします。ABC放送は大阪の文化である漫才の育成にも積極的で、毎年成人の日の頃に「お笑い新人グランプリ」を行い新人芸人の発掘を行っています。また、地域振興にも大きく貢献しており、例えば、夕方のワイドショーでは、大阪に根付いた情報をたくさん提供しています。そんな地元放送局の公共性と発展性を期待し、ポートフォリオに取り入れました。

・最後に

マスコミは地方の企業にはあまり興味を示しません。しかし、社会は都会の大企業だけで成り立っているわけではありません。当然の事ですが、私たちの身の回り、今回で言えば通学路にだって数え切れないほどの企業があるのです。

私たちは、何百、何千という企業の恩恵を受けています。もちろん、大企業の下請けなどもそれに入ります。しかし、私たちは下請けなどのマイノリティにあまり目を向けず、メジャーなところばかり、表に出てくるところばかりに気をとられています。マイノリティももっと評価されていいはずです。これは、大企業と中小企業の関係だけではなく、都会と地方の関係にも当てはまると思います。

近年、各証券取引所でもベンチャー向けの市場がスタートし、少しは中小企業にも日の光があたるようになってきました。小泉改革は地方が独立するよい機会です。「地方分権」を謳っているのだから、地方の特色を生かした試みが多くできるはずです。そうすれば、地方にももっとスポットライトがあたってくるのではないのでしょうか。

今回の「バーチャル株式の体験学習」と「自主テーマによるポートフォリオ学習」は、「地方」の大切さというものを考えるいい機会だったと思います。

現在、『株式投資』をする人には、利潤追求を目的としている人が大多数を占めていると思います。しかし、私たちがこのストックリーグを通じて「投資を通じて社会へ」という概念を学んだように、自分の投資が生む効果にもっと目を向ける人が増えたらよいのではないのでしょうか。

そして、私たちの今回のレポートのテーマ、『地方』にも、もっと目を向けてほしいと思います。

(参考) ポートフォリオに採用した、小売店及び企業の位置 (概略)



- 1 モスバーガー 芦屋店
- 2 富士銀行 西宮支店 (みずほフィナンシャルグループ)
- 3 トイザラス 尼崎店
- 4 クボタ技術開発研究所
- 5 梅の花 千里中央店
- 6 アオキインターナショナル 大阪千里総本店
- 7 コジマ NEW 緑地公園店
- 8 スターバックス 江坂東急プラザオッツ店 / 武富士
- 9 ローソン大阪本社
- 10 コーナン 東三国店
- 11 ABC テレビ (全国朝日放送)
- 12 阪急村 (阪急百貨店)
- 13 三井住友銀行 吹田支店
- 14 NOVA JR 茨木校
- 15 平和堂 アルプラザ京田辺

(注釈)

色のついた路線が通学路。

灘高校は住吉駅最寄り。

メンバーの家はそれぞれ御影、草津 (滋賀県)、京田辺、千里中央最寄り。